

# FOCUS

追いかける。大学生。

無から有を生む団体

## PaKT 成長空間

斬新な企画の実現

個人の主体性の伸長を目的に、さまざまな事業を展開する企業 PaKT。その学生部として運営されているのが「PaKT 成長空間」だ。週2回の会議「PIT」では、企画について真剣な話し合いが繰り広げられている。



さまざまな年齢層との交流の場を提供する「縦のつながりキャンプ」。リクルートが生んだ就職活動の体系を、新たな視点から考える「ソワソワ企画」。斬新な企画を次々と提案し、実行する PaKT 成長空間だが、設立は2010年5月と新しい。何もない所からの創造を促すフィンランド教育の考え方の下、現在の PaKT 総括、松榮秀士さんが企業 PaKT と同時に立ち上げた。現在は京都産業大、京都精華大、龍谷大の学生で構成され、PaKT

T 堀川北山事務所を拠点にしている。週2回の PIT では、何事も納得いくまで議論を行う。2月24日の PIT でも「PaKT のプランディングとは」という本質に迫る議題を元に「縦のつながりキャンプ」について話し合った。「縦のつながりキャンプ」は今回で4回目。1回目の2倍近い100名近くが参加し、3月3日、4日に京都府城陽市で開催された。2月下旬ごろは、連日遅くまで事務所に残ってキャンプの準備を進めることが多

# 人のつながりを広げる

かったという。

普通のキャンプと違い、PaKT というブランドが付いたキャンプとは何なのか。意見交換はひと時も途切れず、アイデアが空間を埋め尽くす。その中に模倣は一つもない。部員全員が、PaKT の理念である「無から有を生むこと」を体現していた。学生部代表の高須将太さん（京産大・2年）は「PaKT の企画には本当に真剣な思いがこもっている。それを参加してくれる人に伝えて、リアクションをもらうことが大切」と、参加者から見た「PaKT」を考え、提案した。

高須さんは、何事にも真剣なこの団体が大好きだと話す。「この歳になってまで、本気で怒ってくれるメンバーがここにはいる」。PaKT が全くの「無」から生み出す企画も、この結束があってこそ生まれる。「代表として、このつながりをもっと部員以外の人も広げたい」と、高須さんは笑顔を浮かべた。

（聞き手＝片山孝章）

## UNN 関西学生報道連盟

配信・発行 (C) UNN 関西学生報道連盟 (公式 HP) <http://www.unn-news.com/>  
共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 4-2-24 ダイニホンビル 4F  
(TEL) 06-6307-1315 (FAX) 06-6829-6353 (MAIL) [info@unn-news.com](mailto:info@unn-news.com)

FOCUS は

神戸大学ニューズネット委員会  
同志社大学 PRESS 編集部  
NEWS 立命通信社  
関学新月通信社  
大阪大学 POST 編集部

関西大学タイムズ編集部  
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部  
京都女子大学藤花通信編集部  
京都大学 EXPRESS 編集部

の共同編集による週刊フリーペーパーです